

# 教訓を防災に生かそう

## 被災地語り部フォーラム

災害体験を風化させず、教訓を防災に生かそうと、第2回東北被災地語り部フォーラムが24、25日、南三陸町で開かれる。東日本大震災や阪神大震災の語り部らが地域間で情報共有し、今後の活動のあり方を考える。

### 南三陸で24、25日

同町で「語り部バス」を運行している南三陸ホテル観洋の主催。24日は「みんなが語り部」と題したパネルディスカッションがあり、神戸市の人と防災未来センター語り部、野村勝さ

んや、岩手県宮古市の三陸鉄道旅客営業課長、二橋守さんらがパネリストを務める。分科会では、震災遺構の保存と役割を考える▽災害を知る世代から知らない世代へつなぐ▽「KATA RIBE」（語り部）を世界へ——の三つのテーマで参加者が意見を交わす。25日は語り部バスの体験会などがある。

参加無料、定員300人（先着順）。希望者は17日までに同ホテルフォーラム事務局に申し込む。問い合わせは同事務局（02226・462442）。

【新井敦】

2019年2月6日(水) 毎日新聞